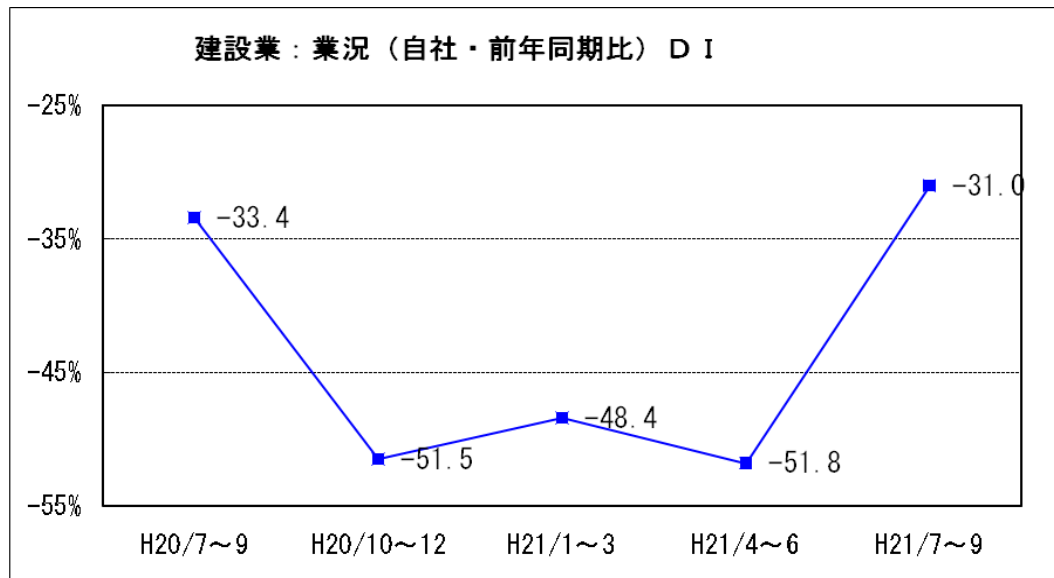


3. 建設業の動向

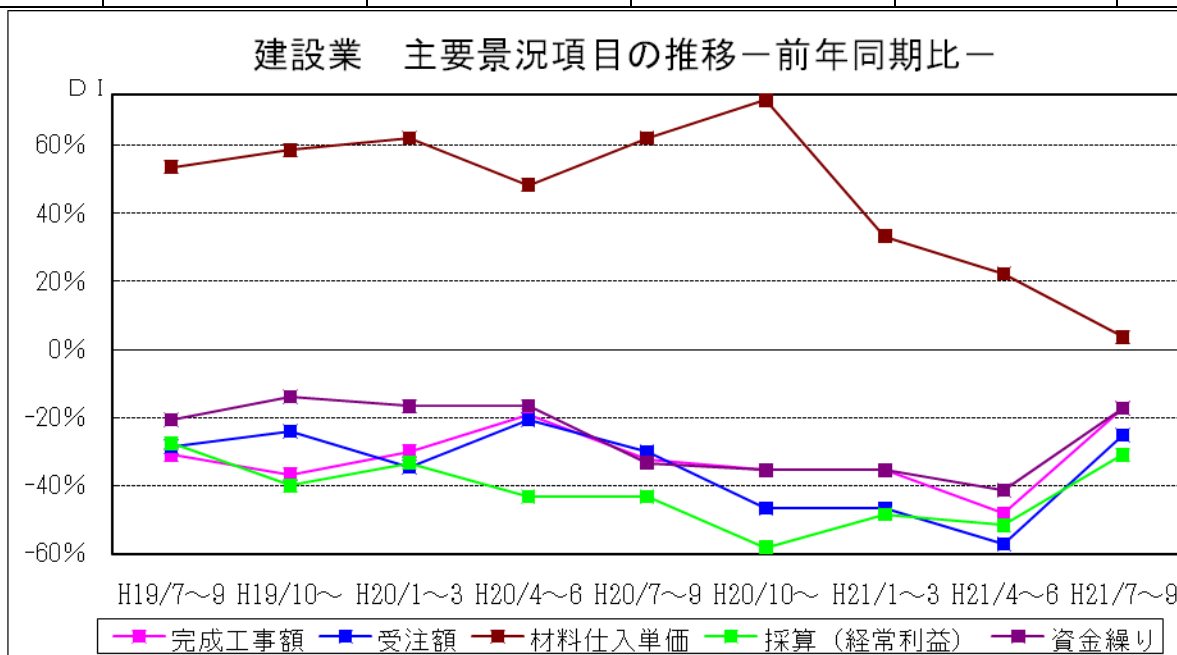
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス31.0。前期のマイナス51.8から20.8ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス25.0と回復の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

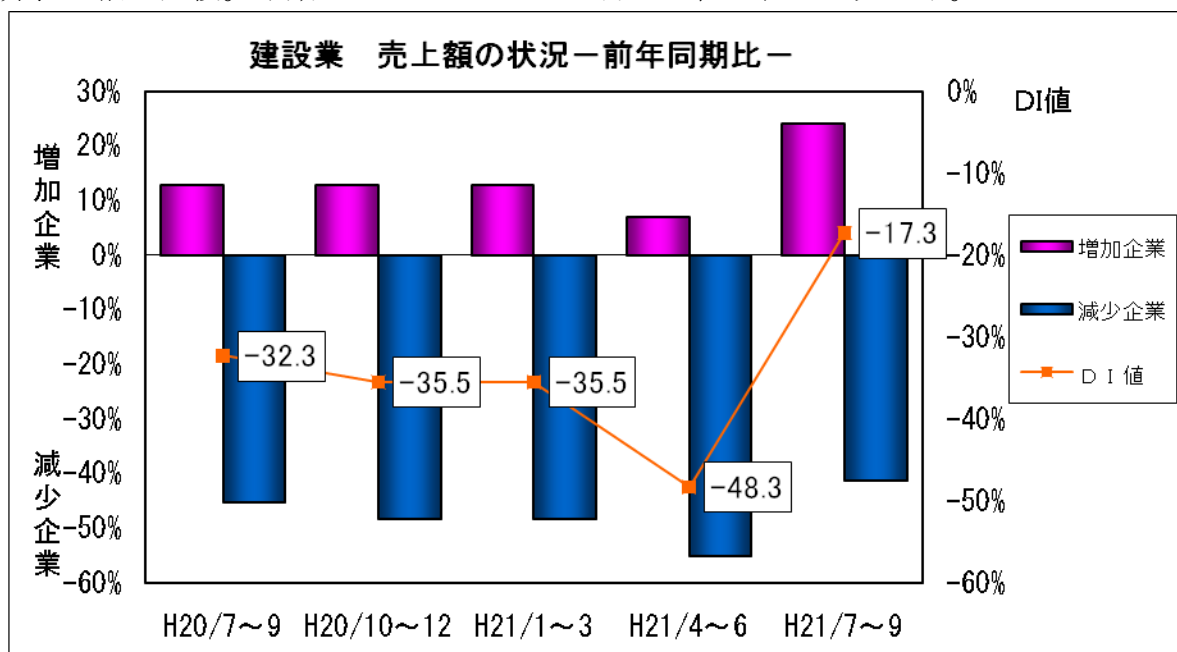
	前々期 (21年1月~3月)	前期(A) (21年4月~6月)	今期(B) (21年7月~9月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲35.5	▲48.3	▲17.3	31.0	▲20.8
受注額	▲46.7	▲57.2	▲25.1	32.1	▲21.5
材料仕入単価	33.3	22.2	3.7	▲18.5	0.0
採算(経常利益)	▲48.4	▲51.7	▲31.0	20.7	▲24.2
資金繰り	▲35.5	▲41.4	▲17.3	24.1	▲31.0



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

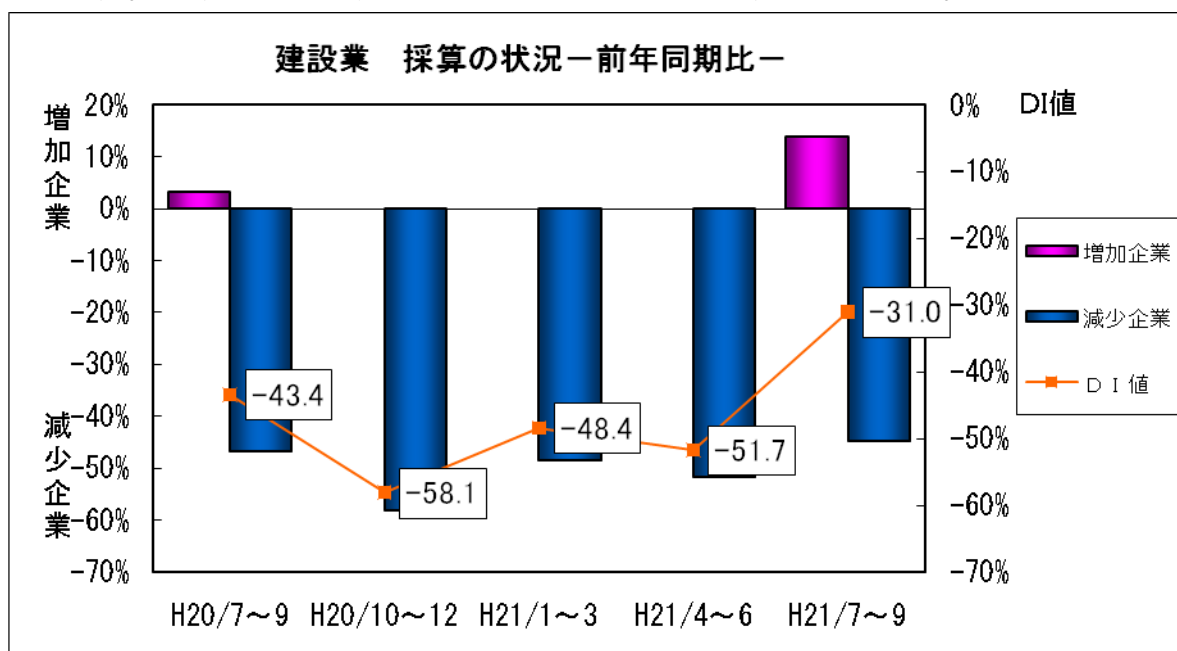
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額DI値は、マイナス 17.3。前期のマイナス 48.3 から 31.0 ポイント上昇、大幅な回復。来期はマイナス 20.8 と再び悪化に転じる見込み。



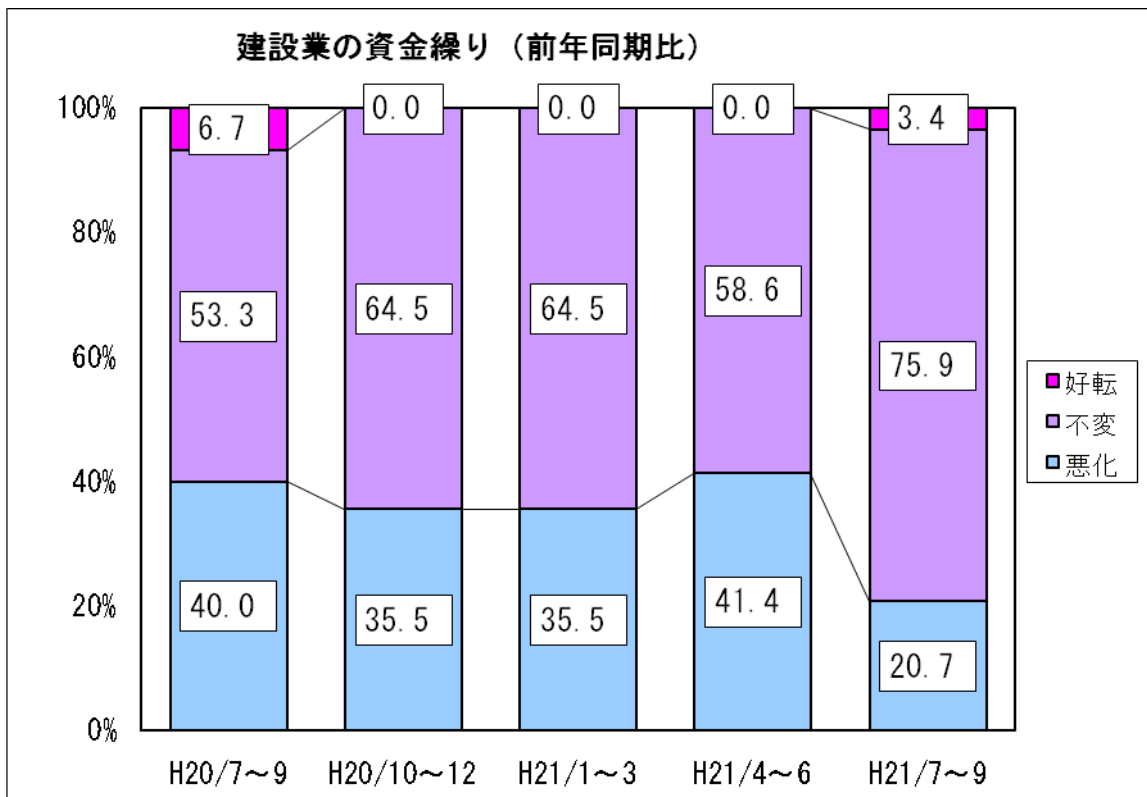
②採算 (前年同期比)

今期の採算DI値は、マイナス 31.0。前期のマイナス 51.7 から 20.7 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 24.2 とさらに回復する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 17.3。前期のマイナス 41.4 から 24.1 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 31.0 と大幅な悪化の見込み。

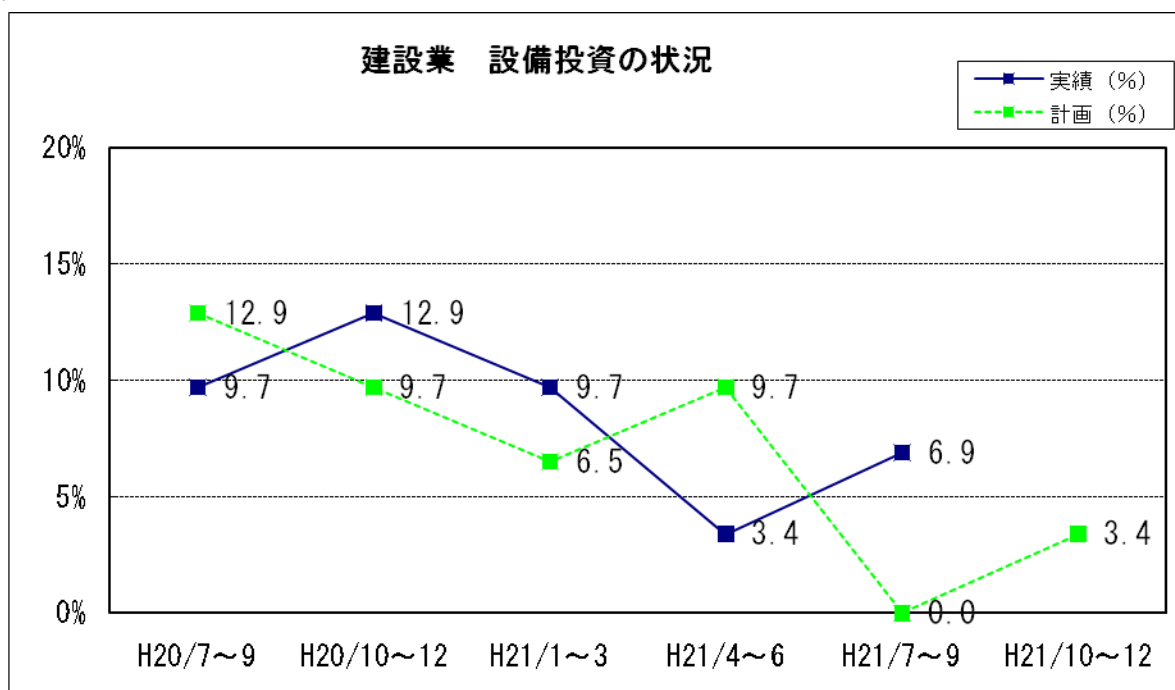


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	28
(%)	3.4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.6
今期実施 (実数)	2	0	1	0	0	0	1	0	0	27
(%)	6.9	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	93.1
来期計画 (実数)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	28
(%)	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	96.6

今期設備投資を実施した企業は2社(6.9%)。前期(平成21年4~6期)の実施企業1社(3.4%)から1社増加。来期は1社(3.4%)が、OA機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 69%→今期 76%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 54%→今期 48%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 46%→今期 44%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 35%→今期 40%)

となっている。

